

学校だより YAMADA

新潟市立山田小学校

令和4年 4月12日

389名(4.11現在)

TEL.025-377-2114

やまだ

Email: e717yamada-yakifuna@city-niigata.ed.jp

<http://www.yamada-es.city-niigata.ed.jp/>

校長 青木 清美

新型コロナウイルス感染の現状からして、今年度も「with コロナ」は続くことになりそうです。このような状況の中でも、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう教育活動を進めます。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も山田小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

小さなことの積み重ねを大事に ～イチロー選手から～

日本でも大リーグでも活躍したイチロー選手。2019年春に現役を引退しましたが、昨年は高校球児に指導したということが話題になりました。その高校は今春の選抜大会に出場していました。

イチロー選手は、日本でもアメリカでも、独特の打法でヒットを量産してきました。また、素晴らしい走力を活かしたプレー、強肩で鋭く速い送球。大谷選手も大変素晴らしい活躍をしていますが、イチロー選手の活躍も強く印象に残っているはずです。

そのイチロー選手が、大事にしてきたのが「小さなことの積み重ね」です。

【小さなことの積み重ねが自信になる】

「夢」に向かって、ただ「〇〇をがんばる」ということでは、長続きしません。そこで、小さな努力の積み重ねひとつひとつを大事にしたらどうでしょうか。

例えば「今日は自学でノート1ページをがんばる。」とか「縄跳びの二重とびで、まず3回できるように練習する」というようにめあてを立てるのです。

そして、今日は「自学ノート1ページできた」という達成感が重要です。翌日も「できた」その次の日も「できた」という繰り返しが「続けてできた」という自信につながっていきます。それがずーっと続くようだったら「1日2ページ」へとめあてを変えていくこともできます。縄跳びの二重跳びも、連続3回から5回へレベルアップできますね。

【「夢」に向かって小さな努力を継続し、時には失敗することも大切】

イチロー選手があれだけの打者になり、素晴らしい走塁を見せ、「レーザービーム」と言われた強肩になったのは、毎日のめあてを決めて、基礎・基本を反復したからです。

「夢」に向かって、基礎・基本である素振り、キャッチボールや遠投、ランニングやストレッチを毎日継続したのです。「やらされている」のではなく、自分が研究して、実際の試合で生きるように考えながら工夫していたのです。

また、イチロー選手は、このような基礎・基本の反復の上で、実際に試合に出る中で失敗も多く経験したと言います。しかし、失敗を「失敗」で終わらせずに、やり方を変えたり研究を重ねたりすることで、「成功」に変えていきました。そして、その結果がプロ野球選手として、日本でも大リーグでも活躍、偉大な記録の達成へ繋がっていったのです。

保護者の皆様、お子さんが学習でも運動でも習い事でも、「夢」に向って、めあてをもち、続けることができるように、是非、時には励まし、できたときには褒めてください。

最後に、イチロー選手の言葉を載せます。

「ちいさいことを重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道」